

平成23年度長崎県大学図書館協議会総会 議事要旨

1. 日 時： 平成23年6月10日(金) 14:00～16:30

2. 場 所： 長崎県立大学シーボルト校 本部棟 特別会議室

3. 出席館： 11館(26名)

長崎県立大学(大塚)/佐世保校(阿部・寺田・池上・加藤)/シーボルト校(吉野・坊野・狩野・向) 長崎総合科学大学(吉田) 活水女子大学(徳永・森) 長崎純心大学(岩崎) 長崎国際大学(飯島) 長崎外国語大学(田中) 長崎玉成短期大学(水谷) 長崎女子短期大学(荒木) 長崎短期大学(小嶋・河野) 佐世保工業高等専門学校(田崎・時田) 長崎大学(姫野・高木・下田)

オブザーバー：長崎県公共図書館等協議会(中島・馬場)

欠席館(1館)：長崎ウエスレヤン大学

4. 配付資料(総会資料等)確認：

開会に先立ち、会場館である長崎県立大学シーボルト校の坊野図書グループリーダーから、配付資料等の確認があった。

5. 開 会：

本日は、全12館中11館の出席で過半数であるため、会則により総会は成立するというので、定刻に開会された。

なお、長崎県公共図書館等協議会からオブザーバーとして2名が出席されていることが報告された。

続いて、会場館である長崎県立大学シーボルト校附属図書館の大塚館長(兼務)から、さらに代表幹事館である長崎大学附属図書館の姫野館長から挨拶があった。

出席者自己紹介の後、慣例により会場館の大塚館長が議長に選出された。

6. 議 事

(1) 平成22年度事業報告について(資料1)

(2) 平成22年度決算報告・監査報告について(資料2)

資料1および資料2について、事務局担当(長崎大学・下田班長)から説明があり、一括して審議された。

また、監査館である活水女子大学(森課長)から監査報告があり、ともに承認された。

なお、監査報告後、森課長から、本会の会計期間(会則第9条)と大学の会計期間が異なり、会費納入等の事務手続きに困難が生じることもあるため、本会会計期間を4月から翌年3月までとする、会則改正の検討が必要との意見があり、来年度以降の改正を検討していくこととなった。

なお、資料1（下から12行目の は ）に一部訂正があった。

（3）平成23年度事業計画（案）について（資料3）

資料3について、事務局担当（長崎大学・下田班長）から説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

なお、長崎国際大学の飯島課長からホームページの充実に係る外注について質問があり、内容・経費等を全館に提示しつつ進めていくことが確認された。

（4）平成23年度予算（案）について（資料4）

事務局担当（長崎大学・下田班長）から、資料4について説明があった。

審議の結果、原案どおり承認された。

（5）平成24年度総会会場館について（資料5）

事務局担当（長崎大学・下田班長）から、資料5に基づいて、ローテーションの説明があり、平成24年度の総会会場館は長崎総合科学大学の予定であることが説明された。

同大学の吉田課長に確認したところ、快く了承されたので、平成24年度の総会会場館は長崎総合科学大学に決定した。

（6）平成23～24年度研修企画委員について（資料6）

事務局担当（長崎大学・下田班長）から、資料7及び研修企画委員会（4月に開催）総会進行打ち合わせ会において、委員選出に係る見直しの提案が出されているとの説明があった。

次に、長崎国際大学の飯島課長から見直し案（提案1及び提案2）について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

（7）その他

なし

<休憩 14:55～15:05>

7. 報告事項

（1）平成22～23年度役員館について（資料5）

事務局担当（長崎大学・下田班長）から、資料5に基づいて、ローテーションの説明と報告があり、了承された。

（2）各館の当面する諸問題について

平成23年度長崎県大学図書館協議会総会提案事項

長崎外国語大学から「研究図書費」で購入する資料の登録基準について、各館の基準等を伺いたいとのことであった。

各館から事前に寄せられた回答（資料）の説明があった。

【長崎県立大学】

研究費で購入する図書の登録の判断は、原則として、1冊（又はセット）5千円以上が基準となっている。

【長崎総合科学大学】

資料のとおりで、金額の線引きは無い。

【活水女子大学】

「資料収集・管理規程」の第7条が該当する。

【長崎純心大学】

金額ではなく、内容で判断する。

【長崎国際大学】

開学当初、1冊3千円以上が登録対象であったが、現在は、学校法人会計基準に基づき、値段ではなく、内容により取り扱っている。

なお、その結果、仕事量が増大した。

【長崎ウエスレヤン大学】

資料のとおり。

【長崎玉成短期大学】

取扱基準等は、特には、設けられていない。

【長崎女子短期大学】

基準等は設けられていないが、金額ではなく、内容で判断している。

【長崎短期大学】

1冊3千円以上は、図書登録することになっている。

【佐世保工業高等専門学校】

基準等はないが、1冊1千5百円を基準として、備品又は消耗品の判断をしている。

【長崎大学】

購入の際の物品請求の提出先により、図書館資料の範囲を定めている。

研究費で購入しているものでも、備品と消耗品の区別をしている。

【県立長崎図書館】

基本的には、金額にかかわらず、登録している。

各館の現状及び当面の事業計画、懸案事項等

【長崎県立大学】

- ・ 昨年度末にシステムの変更とバージョンアップを行った。
- ・ 延滞者に対し、電話等での督促のほか、学籍番号と名前を掲示したら、それが個人情報に触れるということで学籍番号のみ掲示に変えた。しかし、効果が弱くなったので、元に戻した。他の対策を講じている館はないか。
〔長崎国際大学〕名前と延滞日数を掲示している。
〔長崎大学〕学籍番号を掲示し、延滞した日数だけ貸出をしない。
- ・ 書庫の狭隘化に伴い、増築を計画している。

【長崎総合科学大学】

- ・ 不明図書がかなり残っており、蔵書点検をきっちりやる必要がある。
- ・ 2004年以前の雑誌が登録されていないので、登録する必要がある。

【活水女子大学】

- ・ 蔵書点検と書架の対策が必要である。
- ・ 利用者開放端末の設定変更をする者がおり、システムに悪影響を及ぼすことがある。また、利用者開放端末のウイルス対策も必要となっている。

【長崎純心大学】

- ・ 狭隘化の問題が大きくなっており、今年度、書架を入れる予算がついたので、少しは軽減化できる見込みである。

【長崎国際大学】

- ・ 今年度、図書館システムのバージョンアップを行ったが、システムダウンなど、システムの不安定な状態が続いており、利用者サービスの充実した機能を使いこなせないでいる。

【長崎外国語大学】

- ・ 今年度、図書館システムを更新することになっている。他館を参考にしたいので、よろしく願いしたい。

【長崎玉成短期大学】

- ・ 今年度末を持って閉学の予定であり、今年度をもって本協議会を退会する予定である。お世話になりました。

【長崎女子短期大学】

- ・ 学生向けの図書を学内で学生に選書させていたが、今年度は、書店に出向いての選書を計画している。既に実施している大学を参考にしたい。
〔県立大学佐世保校〕一人当たり5万円の予算で、福岡で実施している。ワンフロアで実施できる書店が良い。学生には好評である。
〔長崎国際大学〕一人当たり5万円～3万円の予算で、福岡で実施している。現地解散にしたら、学生の応募が増えた。学生が選書した図書のコーナーを設けている。
〔長崎大学〕一人当たり2万円分の選書をさせ、選んだ本3点以上の「ポップ」を書いてもらい、選書コーナーに置いているが、よく読まれている。

【長崎短期大学】

- ・ 今年度末に蔵書点検を計画している。蔵書点検の時期として、適当な時期と不明図書の廃棄年数をおたずねしたい。
〔県立大学佐世保校〕毎年夏休みに各階毎に蔵書点検を実施している。不明から2年以上（実際は、2階～4階の3フロアを1年ごとに1フロアずつ蔵書点検をしているので、一巡した3年以上）を経過したものは除却している。
〔長崎純心大学〕会計監査の側から蔵書点検を実施するように言われ、毎年夏休みに実施している。不明図書は、2回の蔵書点検で見つからない場合、年度末の3月に除却を行っている。

【佐世保工業高等専門学校】

- ・ 創立50周年を来年迎えるが、建物が老朽化している。今年度は、空調の予算がついた。また、狭隘化と戦っており、廃棄等に対応している。
- ・ 図書館に学生を呼び戻して、魅力のある空間にするにはどうしたらよいか、良い工夫をしている館があったら御教示いただきたい。
〔長崎大学〕図書館が本の提供の場としてだけでなく、「ラーニングコモ

ンズ」として、学習支援の場、基本的に自学自習の場となるよう図書館の機能を再編成することを考えている。とりわけ、先生方が授業で図書館を使うことのモデルにしていくことを考えている。

〔県立大学佐世保校〕新入生セミナーで「図書館ツアー」を行い、図書館の説明をしている。3・4年生には卒論を書くための「文献ツアー」を実施し、「卒論作成要領」も配付している。

【長崎大学】

- ・ 大局的な課題は、図書館の役割が大学の役割の中にきちんと位置づけられているかということである。図書館は大学の情報を集め、発信する重要な役割がある。それが大学の機能とリンクしていないと発揮できない。
- ・ 学習支援のほか、もっと多機能な図書館、とりわけ、情報リテラシーに支えられた機能がたいへん重要である。自学自習を基本に据えて、図書館員が先生方と協力して、どういう機能が図書館でできるかを検討すると同時にモデル事業を先生方にしてもらい、図書館の活用を考える。授業をサポートする仕組みを考える。さらに、Eジャーナルの効果的な活用、リポジトリ登録の推進に努めなければならない。
- ・ 長崎大学の個性を明らかにするため、特別コレクションを充実させる。
- ・ 古写真を梃子にしながら、海外メディア・外国語新聞へのアクセスのデータベース化、外国機関との連携を進める。
- ・ 狭隘化が進んでいるが、予算がつけば、来年は耐震化の全面改装の予定である。
- ・ 主催事業「古写真展」の案内。

(4) その他

長崎国際大学(飯島課長)から、NII「共同リポジトリ実証実験」に参加していることの報告があった。

8. 閉 会

最後に、来年度会場館である、長崎総合科学大学吉田課長から挨拶があり、本日の議事・報告事項は全て終了し、平成23年度総会を閉会した。

なお、閉会后、希望者のみ、会場館である長崎県立大学シーボルト校附属図書館を見学した。

以上